

2021年9月1日

「胸部骨減弱処理を用いた経時差分処理画像の有用性に関する後ろ向き研究」へのご参加のお願い

— 2017年4月から2021年3月までに当院において胸部単純X線検査を施行し、  
且つ同日にComputed Tomography(CT)検査を受けられた方へ —

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（西暦2014年12月22日制定 西暦2017年2月28日一部改正）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

胸部骨減弱処理を用いた経時差分処理画像の有用性に関する後ろ向き研究

2. 研究期間 2021年10月から2024年3月

3. 研究機関 産業医科大学病院 放射線部

4. 実施責任者

産業医科大学病院放射線部 医療技術職（主任診療放射線技師）高木 剛司

5. 研究の目的と意義

胸部単純X線画像に加え、現在の胸部単純X線画像から過去の胸部単純X線画像を引き算することにより得られる経時差分画像を同時に観察することにより、小さな病変も見落とすことなく、より正確に診断を行うことができます。しかし現在と過去の画像において撮影時の体の位置が異なる場合は画像の引き算がうまくされず、肋骨による偽画像を生じ診断の妨げとなります。肋骨を減弱した胸部単純X線画像を用いて経時差分画像を作成することで偽画像を低減することが可能になると考えられますが、これまで報告はありません。

この研究では肋骨減弱した胸部単純X線画像を用いた経時差分画像の有用性を評価します。この研究結果の成果は、疾患の検出精度を更に向上させ適切な胸部疾患の診療へ貢献されます。

## 6. 研究の方法

### 【対 象】

2017年4月から2021年3月までに当院で胸部単純X線検査を施行し、且つ同日にComputed Tomography(CT)検査を受けた患者さん

### 【方 法】

産業医科大学病院にて2017年4月から2021年3月までに単純X線検査を行い、かつ同日にCT検査を受けた患者さんの現在および過去の胸部単純X線画像を用いて、骨減弱を使用しない経時差分画像と骨減弱を使用した経時差分画像を作成します。作成されたそれぞれの経時差分画像を用いて視覚評価を行い、肋骨減弱を用いた経時差分画像の臨床的有用性を読影実験で評価します。

## 7. 個人情報の取り扱い

対象者を特定できる個人情報は、一切公表しません。画像データを院内サーバーから取り出す際には、被験者が特定できないように患者ID、氏名、検査日などの個人情報は削除して全て匿名化します。代わりに新しく符号をつけ、あなたとこの符号を結びつける対応表は研究実施責任者が厳重に管理し、あなたの個人情報の漏洩を防止します。このようにあなたの個人情報を連結可能匿名化することにより、研究者が個々の解析結果を特定の個人に結びつけることができなくなります。

この研究の実施や得られた成果を学会や論文などに発表する場合には、個人を特定できる氏名、住所などの個人情報は一切使用いたしません。また、解析したデータは研究終了後に5年間保管した後匿名化を確認した上で廃棄します。

本研究に該当する方で、ご自身の診療データ等の使用を希望されない方は、下記担当者へお申し出下さい。その場合、診療データは利用しません。

## 8. 問い合わせ先

産業医科大学病院 放射線部

所在地：〒807-8556 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

電 話：093-603-1611 内線 3009

氏 名：高木 剛司

職 名：医療技術職

## 9. その他

研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼もありません。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。